nikko am

ＳＭＢＣ・日興 世銀債ファンド
＜愛称　世界銀行グリーンファンド＞

運用報告書（全体版）

第63期（決算日　2015年５月20日）　第65期（決算日　2015年７月21日）　第67期（決算日　2015年９月24日）
第64期（決算日　2015年６月22日）　第66期（決算日　2015年８月20日）　第68期（決算日　2015年10月20日）

受　益　者　の　み　な　さ　ま　へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
「ＳＭＢＣ・日興 世銀債ファンド」は、2015年10月20日に第68期の決算を行ないましたので、第63期から第68期の運用状況をまとめてご報告申しあげます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商　品　分　類	追加型投信／海外／債券
信　託　期　間	2010年２月19日から2024年10月21日までです。
運　用　方　針	主として、世界銀行の発行する債券を投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「ＷＢグリーンファンド クラスＡ」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組　入　制　限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分　配　方　針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

＜652849＞

日興アセットマネジメント株式会社
東京都港区赤坂九丁目７番１号
http://www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先
コールセンター　電話番号：0120-25-1404
午前９時～午後５時　土、日、祝・休日は除きます。
●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

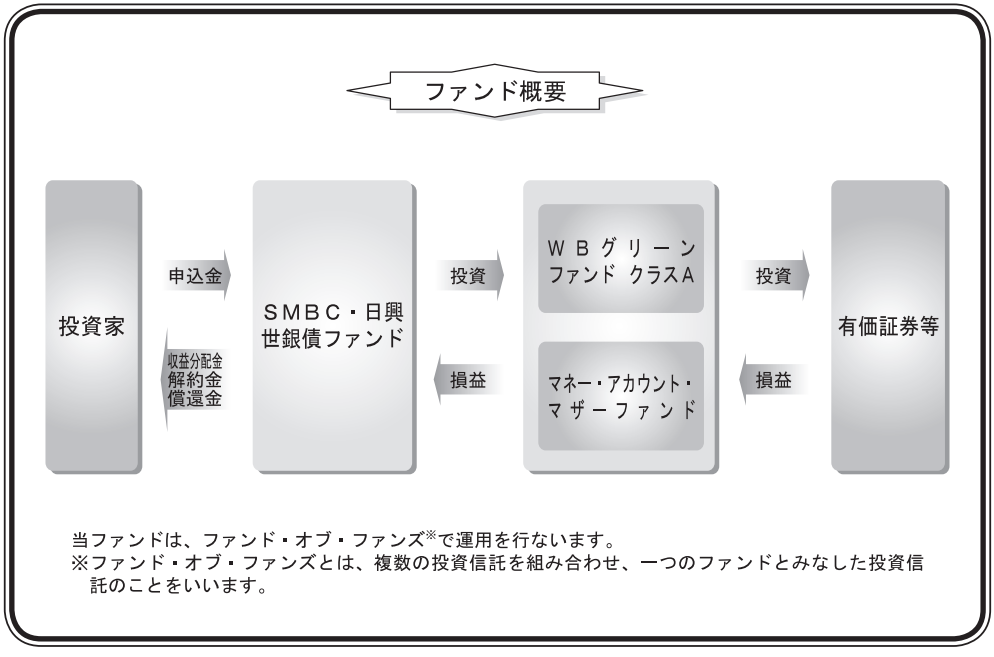
Contents

◆ＳＭＢＣ・日興 世銀債ファンド……1

（ご参考）投資対象先の直近の内容

◆ＷＢグリーンファンド クラスＡ ……15

◆マネー・アカウント・マザーファンド……18



日興アセットマネジメントでは、本資料の他に当ファンドに関する情報等を別途開示している場合がございます。
詳しくは、当社ホームページ(http://www.nikkoam.com/)またはお取引先の窓口までお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
39期(2013年５月20日)	9,253	80	2.0	0.1	99.4	7,594
40期(2013年６月20日)	8,033	80	△12.3	0.1	99.3	6,745
41期(2013年７月22日)	8,332	80	4.7	0.1	99.5	6,924
42期(2013年８月20日)	7,795	80	△ 5.5	0.1	99.6	6,406
43期(2013年９月20日)	8,215	80	6.4	0.1	98.8	6,642
44期(2013年10月21日)	8,102	80	△ 0.4	0.1	99.4	6,476
45期(2013年11月20日)	7,988	80	△ 0.4	0.1	99.4	6,297
46期(2013年12月20日)	8,040	80	1.7	0.1	99.6	6,520
47期(2014年１月20日)	7,805	80	△ 1.9	0.1	99.5	6,334
48期(2014年２月20日)	7,555	80	△ 2.2	0.1	99.1	6,375
49期(2014年３月20日)	7,458	80	△ 0.2	0.1	99.5	6,074
50期(2014年４月21日)	7,599	80	3.0	0.1	99.5	5,986
51期(2014年５月20日)	7,648	80	1.7	0.1	99.5	5,909
52期(2014年６月20日)	7,594	80	0.3	0.1	100.2	5,756
53期(2014年７月22日)	7,495	80	△ 0.3	0.1	98.5	5,717
54期(2014年８月20日)	7,472	80	0.8	0.1	98.6	5,670
55期(2014年９月22日)	7,552	80	2.1	0.1	98.4	5,415
56期(2014年10月20日)	7,228	80	△ 3.2	0.1	98.5	5,162
57期(2014年11月20日)	7,680	80	7.4	0.1	98.9	5,453
58期(2014年12月22日)	7,234	80	△ 4.8	0.1	98.9	5,549
59期(2015年１月20日)	7,103	80	△ 0.7	0.1	98.3	5,659
60期(2015年２月20日)	6,857	80	△ 2.3	0.1	98.9	5,352
61期(2015年３月20日)	6,574	80	△ 3.0	0.1	98.3	5,142
62期(2015年４月20日)	6,498	80	0.1	0.1	98.5	5,085
63期(2015年５月20日)	6,510	80	1.4	0.1	98.5	5,157
64期(2015年６月22日)	6,413	80	△ 0.3	0.1	98.4	5,759
65期(2015年７月21日)	6,285	80	△ 0.7	0.1	98.5	5,691
66期(2015年８月20日)	5,992	80	△ 3.4	0.1	98.5	5,399
67期(2015年９月24日)	5,495	80	△ 7.0	0.1	98.5	4,867
68期(2015年10月20日)	5,636	80	4.0	0.1	98.4	4,971

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

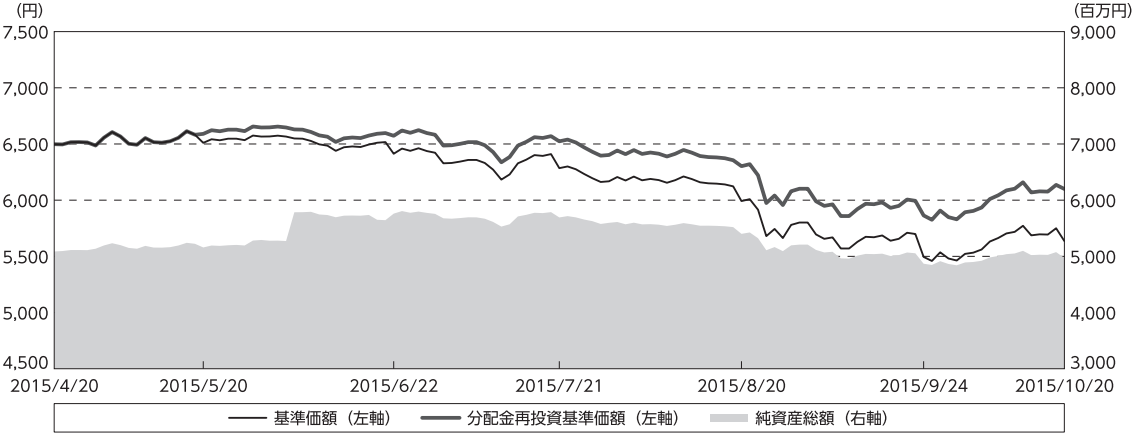
決算期	年月日	基準価額		債券組入比率	投資信託証券組入比率
			騰落率		
	（期　首）	円	%	%	%
	2015年４月20日	6,498	－	0.1	98.5
第63期	４月末	6,606	1.7	0.1	98.5
	（期　末）				
	2015年５月20日	6,590	1.4	0.1	98.5
	（期　首）				
	2015年５月20日	6,510	－	0.1	98.5
第64期	５月末	6,566	0.9	0.1	98.2
	（期　末）				
	2015年６月22日	6,493	△0.3	0.1	98.4
	（期　首）				
	2015年６月22日	6,413	－	0.1	98.4
第65期	６月末	6,328	△1.3	0.1	98.3
	（期　末）				
	2015年７月21日	6,365	△0.7	0.1	98.5
	（期　首）				
	2015年７月21日	6,285	－	0.1	98.5
第66期	７月末	6,175	△1.8	0.1	98.4
	（期　末）				
	2015年８月20日	6,072	△3.4	0.1	98.5
	（期　首）				
	2015年８月20日	5,992	－	0.1	98.5
第67期	８月末	5,801	△3.2	0.1	98.5
	（期　末）				
	2015年９月24日	5,575	△7.0	0.1	98.5
	（期　首）				
	2015年９月24日	5,495	－	0.1	98.5
第68期	９月末	5,463	△0.6	0.1	98.4
	（期　末）				
	2015年10月20日	5,716	4.0	0.1	98.4

（注）期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2015年４月21日～2015年10月20日）

作成期間中の基準価額等の推移



第63期首：6,498円
第68期末：5,636円（既払分配金（税込み）：480円）
騰　落　率：△6.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2015年４月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の推移

第63期首6,498円の基準価額は、第68期末に5,636円（分配後）となり、分配金を加味した騰落率は△6.1%となりました。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、各国通貨建ての世界銀行債券を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

・グリーンボンドなどの世界銀行債券からの利息収入を得たこと。
・インドルピーやニュージーランドドル建てなどの世界銀行債券の利回りが低下（債券価格は上昇）したこと。
・イギリスポンド、アメリカドルが対円で上昇したこと。

＜値下がり要因＞
・ブラジルレアル、コロンビアペソ、ニュージーランドドルなど多くの通貨が対円で下落したこと。
・ブラジルレアル建ての世界銀行債券の利回りが上昇（債券価格は下落）したこと。

投資環境

（債券市況）

期間の初めは欧米の短期債券利回りは上昇しました。これは、FRB（米国連邦準備制度理事会）が年内に利上げに踏み切る可能性が高いことが鮮明となったことによるものです。しかし、年内の利上げの可能性が遠のいたことから期間末にかけて欧米の短期債券利回りは低下しました。期間中は、米国の利上げ時期に対する懸念が市場を取り巻きました。当初2015年６月と予想された利上げ時期が９月に後ずれするなか、アメリカドルが強含む一方、新興国通貨や資源国通貨が急落しました。中国の景気減速懸念も市場の注目を浴びました。2015年年初より上昇していた中国株式が６月中旬以降急落し、その上昇幅を失った影響から、中国経済の減速は市場予想以上に起きているのではないかとの見方が高まりました。また、ブラジル経済に対する悲観的な見方も高まりました。政府の経済成長見通しは引き下げられ、2016年予算案は基礎的財政収支が対GDP（国内総生産）比でマイナスとなりました。厳しすぎる緊縮策には与党内からも反対意見が出るなど、政策運営に対する政治的不透明感が高まりました。財政再建の遅れから格付け機関が外貨建てブラジル国債の格付けを投資適格からBB＋に引き下げたことも嫌気されました。原油価格や商品価格の下落は、原油や商品を主に輸出していた新興国経済にとってマイナスに働きました。

（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間中、概ね0.05～0.09％の範囲で安定的に推移しました。国庫短期証券（TB）３ヵ月物金利は、期間の初めから2015年６月にかけて、概ね0.00％近辺でもみ合いの推移となりました。７月には、ギリシャの債務問題を背景としたユーロ圏からの資金流入などもあり－0.07％台まで低下する局面があったものの、その後８月にかけては、0.00％近辺でもみ合いの推移となりました。９月は、決算期末を控えた金融機関からのTB需要の増加などから一時的に－0.03％台に低下しましたが、期間末にかけては、0.00％近辺へ上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「ＷＢグリーンファンド クラスＡ」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（ＷＢグリーンファンド クラスＡ）

期間中、ブラジルの組入比率を引き下げました。これは、同国の政治情勢が問題含みであることを踏まえての措置です。その一方で、インド政府の構造改革への取り組みに対しては楽観的な見方を強め、インドの組入比率を引き上げました。先進国市場ではノルウェーの組入比率を大幅に引き下げました。原油安に伴い同国の経済見通しが悪化したためです。これに対して、英国とコロンビアを組み入れました。英国では2015年５月に総選挙が行なわれ、与党保守党が単独過半数の議席を獲得するという予想外の結果に終わりました。これにより、政治的な不安材料が取り除かれることになり、同国に対する先行き見通しが大幅に改善しました。コロンビアについては、世界的な原油安に伴って大幅に下落した通貨ペソが、インフレ調整ベースで極めて割安な水準となっていることから、期間末に同国を組み入れました。

期間末時点では、メキシコ、ブラジル、トルコ、米国、インド、オーストラリア、ノルウェー、英国、南アフリカ、ニュージーランド、コロンビアの通貨建ての世界銀行債券に分散投資を行ないました。

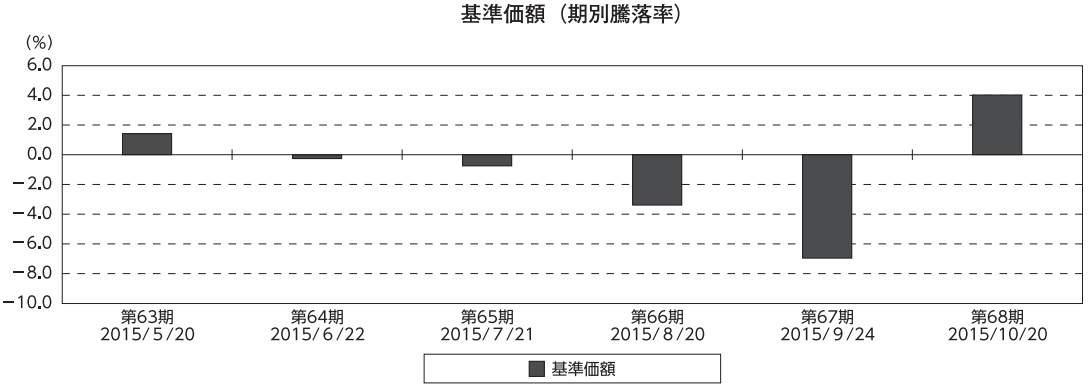
（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

下記のグラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

第63期～第68期における分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下の通りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期
	2015年４月21日～2015年５月20日	2015年５月21日～2015年６月22日	2015年６月23日～2015年７月21日	2015年７月22日～2015年８月20日	2015年８月21日～2015年９月24日	2015年９月25日～2015年10月20日
当期分配金	80	80	80	80	80	80
（対基準価額比率）	1.214％	1.232％	1.257％	1.318％	1.435％	1.400％
当期の収益	80	80	80	80	80	80
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	646	653	660	667	675	686

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、「ＷＢグリーンファンド クラスＡ」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（ＷＢグリーンファンド クラスＡ）

ここ数ヵ月間、米国の経済指標が製造業や輸出を中心に弱含んでいることを受けて、アメリカドルが勢いを失い始めています。こうした状況を踏まえて、FRBの利上げ開始時期が2016年に先送りされるという予想が大勢を占めつつありますが、2015年12月に利上げが開始される可能性も多少残されています。したがって、短期的には、アメリカドルへの投資は一定限度の範囲内にとどめていますが、アメリカドルが大幅に反落するような局面があれば、買いの好機として投資を検討します。また、引き続きノルウェーの組入比率を引き下げるタイミングを模索しており、その場合には、主に英国の組入比率の引き上げを検討します。新興国市場の中では、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）が良好なメキシコやインドを選好していきます。また、ブラジルやトルコの組入比率も引き続き高水準に維持する方針です。政治的リスクを背景にして、ブラジルやトルコの通貨は適正価値に対して売られ過ぎた水準にあるとみており、当ファンドでは、両国の政治的リスクは誇張され過ぎているという見方をしています。

このような見通しの下、引き続き、グリーンボンドなどの世界銀行債券を中心に分散投資を行なう方針です。原則として、相対的に利回りの高い通貨の組入比率を高めに維持し、高い利息収入の獲得をめざします。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

○１万口当たりの費用明細

（2015年４月21日～2015年10月20日）

項目	第63期～第68期 金額	第63期～第68期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	30	0.486	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(9)	(0.146)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(20)	(0.324)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	2	0.025	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(1)	(0.022)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合計	32	0.511	
作成期間の平均基準価額は、6,156円です。			

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。
（注）この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合もあります。

○売買及び取引の状況

（2015年４月21日～2015年10月20日）

投資信託証券

銘柄		第63期～第68期 買付 口数	買付 金額	売付 口数	売付 金額
		千口	千円	千口	千円
国内	ＷＢグリーンファンド クラスＡ	1,775,348	1,101,239	679,972	400,319

（注）金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第63期～第68期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド	1,145	1,150	1,459	1,465

○利害関係人との取引状況等

（2015年４月21日～2015年10月20日）

利害関係人との取引状況

＜ＳＭＢＣ・日興 世銀債ファンド＞

区分	第63期～第68期					
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
投資信託証券	1,101	1,101	100.0	400	400	100.0

＜マネー・アカウント・マザーファンド＞

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

（2015年４月21日～2015年10月20日）

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2015年４月21日～2015年10月20日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2015年10月20日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	第62期末	第68期末		
	口数	口数	評価額	比率
	千口	千口	千円	%
ＷＢグリーンファンド クラスＡ	8,017,702	9,113,078	4,891,900	98.4
合計	8,017,702	9,113,078	4,891,900	98.4

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘柄	第62期末	第68期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド	5,127	4,812	4,833

○投資信託財産の構成

（2015年10月20日現在）

項目	第68期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	4,891,900	96.7
マネー・アカウント・マザーファンド	4,833	0.1
コール・ローン等、その他	160,236	3.2
投資信託財産総額	5,056,969	100.0

（注）比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項　　目	第63期末	第64期末	第65期末	第66期末	第67期末	第68期末
	2015年５月20日現在	2015年６月22日現在	2015年７月21日現在	2015年８月20日現在	2015年９月24日現在	2015年10月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	**5,249,927,997**	**5,952,971,617**	**5,783,001,873**	**5,490,461,372**	**4,955,341,037**	**5,056,969,543**
コール・ローン等	156,541,017	273,153,647	171,039,830	166,513,788	156,628,906	158,392,562
投資信託受益証券(評価額)	5,079,907,637	5,669,677,549	5,606,166,191	5,316,779,182	4,793,762,925	4,891,900,437
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	5,185,100	5,762,143	5,795,566	5,539,208	4,948,934	4,833,643
未収入金	8,294,013	4,377,836	－	1,628,910	－	1,842,630
未収利息	230	442	286	284	272	271
(B) 負債	**92,638,460**	**193,881,734**	**91,735,900**	**91,104,825**	**87,534,385**	**85,914,315**
未払金	9,582,121	－	12,536,833	11,648,249	－	6,506,750
未払収益分配金	63,377,124	71,845,378	72,447,727	72,089,466	70,866,925	70,566,091
未払解約金	14,671,653	116,180,485	1,195,287	1,633,241	10,484,466	3,466,667
未払信託報酬	4,125,557	4,833,524	4,411,434	4,462,940	4,775,510	3,436,492
その他未払費用	882,005	1,022,347	1,144,619	1,270,929	1,407,484	1,938,315
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	**5,157,289,537**	**5,759,089,883**	**5,691,265,973**	**5,399,356,547**	**4,867,806,652**	**4,971,055,228**
元本	7,922,140,514	8,980,672,369	9,055,965,982	9,011,183,270	8,858,365,726	8,820,761,386
次期繰越損益金	△2,764,850,977	△3,221,582,486	△3,364,700,009	△3,611,826,723	△3,990,559,074	△3,849,706,158
(D) 受益権総口数	**7,922,140,514口**	**8,980,672,369口**	**9,055,965,982口**	**9,011,183,270口**	**8,858,365,726口**	**8,820,761,386口**
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	**6,510円**	**6,413円**	**6,285円**	**5,992円**	**5,495円**	**5,636円**

（注）当ファンドの第63期首元本額は7,826,648,884円、第63～68期中追加設定元本額は1,794,182,591円、第63～68期中一部解約元本額は800,070,089円です。

（注）１口当たり純資産額は、第63期0.6510円、第64期0.6413円、第65期0.6285円、第66期0.5992円、第67期0.5495円、第68期0.5636円です。

（注）2015年10月20日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は3,849,706,158円です。

○損益の状況

項　　目	第63期 2015年４月21日～ 2015年５月20日	第64期 2015年５月21日～ 2015年６月22日	第65期 2015年６月23日～ 2015年７月21日	第66期 2015年７月22日～ 2015年８月20日	第67期 2015年８月21日～ 2015年９月24日	第68期 2015年９月25日～ 2015年10月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	**72,775,160**	**79,899,731**	**83,330,164**	**83,369,355**	**82,158,711**	**81,902,563**
受取配当金	72,771,542	79,893,386	83,325,135	83,364,541	82,152,722	81,898,840
受取利息	3,618	6,345	5,029	4,814	5,989	3,723
(B) 有価証券売買損益	**3,856,131**	**△ 95,700,105**	**△ 120,723,461**	**△ 269,847,038**	**△ 445,999,775**	**116,559,196**
売買益	3,956,902	2,219,530	608,796	1,140,595	4,777,812	117,094,813
売買損	△ 100,771	△ 97,919,635	△ 121,332,257	△ 270,987,633	△ 450,777,587	△ 535,617
(C) 信託報酬等	**△ 4,264,511**	**△ 4,996,320**	**△ 4,560,012**	**△ 4,613,256**	**△ 4,936,353**	**△ 3,993,312**
(D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	**72,366,780**	**△ 20,796,694**	**△ 41,953,309**	**△ 191,090,939**	**△ 368,777,417**	**194,468,447**
(E) 前期繰越損益金	**△1,593,609,534**	**△1,530,519,523**	**△1,605,578,326**	**△1,698,052,910**	**△1,921,749,480**	**△2,345,887,276**
(F) 追加信託差損益金	**△1,180,231,099**	**△1,598,420,891**	**△1,644,720,647**	**△1,650,593,408**	**△1,629,165,252**	**△1,627,721,238**
（配当等相当額）	(310,006,222)	(388,211,889)	(395,599,663)	(395,225,162)	(389,185,696)	(388,019,091)
（売買損益相当額）	(△1,490,237,321)	(△1,986,632,780)	(△2,040,320,310)	(△2,045,818,570)	(△2,018,350,948)	(△2,015,740,329)
(G) 計（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	**△2,701,473,853**	**△3,149,737,108**	**△3,292,252,282**	**△3,539,737,257**	**△3,919,692,149**	**△3,779,140,067**
(H) 収益分配金	**△ 63,377,124**	**△ 71,845,378**	**△ 72,447,727**	**△ 72,089,466**	**△ 70,866,925**	**△ 70,566,091**
次期繰越損益金（Ｇ＋Ｈ）	**△2,764,850,977**	**△3,221,582,486**	**△3,364,700,009**	**△3,611,826,723**	**△3,990,559,074**	**△3,849,706,158**
追加信託差損益金	△1,180,231,099	△1,598,420,891	△1,644,720,647	△1,650,593,408	△1,629,165,252	△1,627,721,238
（配当等相当額）	(310,006,222)	(388,211,890)	(395,599,663)	(395,225,162)	(389,185,696)	(388,019,091)
（売買損益相当額）	(△1,490,237,321)	(△1,986,632,781)	(△2,040,320,310)	(△2,045,818,570)	(△2,018,350,948)	(△2,015,740,329)
分配準備積立金	202,224,931	198,378,911	202,552,423	206,636,971	208,832,409	217,149,580
繰越損益金	△1,786,844,809	△1,821,540,506	△1,922,531,785	△2,167,870,286	△2,570,226,231	△2,439,134,500

（注）損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は各期末の評価換えによるものを含みます。
（注）損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注）損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注）分配金の計算過程（2015年４月21日～2015年10月20日）は以下の通りです。

項　　目	2015年４月21日～ 2015年５月20日	2015年５月21日～ 2015年６月22日	2015年６月23日～ 2015年７月21日	2015年７月22日～ 2015年８月20日	2015年８月21日～ 2015年９月24日	2015年９月25日～ 2015年10月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	68,725,229円	74,903,501円	78,770,223円	78,756,171円	77,222,409円	80,254,603円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	310,006,222円	388,211,890円	395,599,663円	395,225,162円	389,185,696円	388,019,091円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	196,876,826円	195,320,788円	196,229,927円	199,970,266円	202,476,925円	207,461,068円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	575,608,277円	658,436,179円	670,599,813円	673,951,599円	668,885,030円	675,734,762円
f. 分配対象収益(１万口当たり)	726円	733円	740円	747円	755円	766円
g. 分配金	63,377,124円	71,845,378円	72,447,727円	72,089,466円	70,866,925円	70,566,091円
h. 分配金(１万口当たり)	80円	80円	80円	80円	80円	80円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期
１万口当たり分配金（税込み）	80円	80円	80円	80円	80円	80円

○お知らせ

約款変更について

2015年４月21日から2015年10月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

ご参考　「資産、負債、元本及び基準価額の状況」および「損益の状況」に記載している一般的な項目についての説明。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項　　目	説　　明
(A) **資産**	ファンドの有する財産の合計額
コール・ローン等	金融機関向けの短期貸付資金や短期金融商品等の残高
各有価証券等(評価額)	株や債券、ファンド等の有価証券等の評価額
未収入金	入金予定の有価証券の売却代金等
未収配当金	入金予定の株式等の配当金
未収利息	入金予定の債券等の利息
(B) **負債**	支払い予定額の合計
未払金	支払い予定の有価証券の買付代金等
未払収益分配金	支払い予定の収益分配金
未払信託報酬	支払い予定の信託報酬の金額
(C) **純資産総額(Ａ－Ｂ)**	ファンド全体の評価金額
元本	ファンドの元本部分の残高
次期繰越損益金	純資産総額と元本残高との差額で、翌期に繰越す損益金の合計額
(D) **受益権総口数**	受益者の保有総口数
１(万)口当たり基準価額(Ｃ÷Ｄ)	ファンドの単位当たりの時価

○損益の状況

項　　目	説　　明
(A) **配当等収益**	ファンドが直接受け取った配当金や利息等の合計
受取配当金	ファンドが直接受け取った株式等の配当金の合計
受取利息	ファンドが直接受け取ったコール・ローンや債券等の利息の合計
(B) **有価証券売買損益**	有価証券売買時の損益と評価損益の合計
売買益	各有価証券の売買益と期末評価益の合計
売買損	各有価証券の売買損と期末評価損の合計
(C) **信託報酬等**	信託報酬や保管費用等のファンドの経費
(D) **当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)**	当期における収支合計
(E) **前期繰越損益金**	前期分の繰越損益金と分配準備積立金の合計から当期中の解約で発生する取り崩し分を控除した金額
(F) **追加信託差損益金**	受益者がファンドに新規に払込んだ金額とファンドの元本との差額(基準価額と単位当たり元本との差額)を調整した金額
(配当等相当額)	(配当等に相当する額)
(売買損益相当額)	(売買損益に相当する額)
(G) **計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ)**	期中の収支の総合計額
(H) **収益分配金**	収益分配金の合計額
次期繰越損益金(Ｇ＋Ｈ)	翌期に繰り越す損益金の合計額(期中の収支の総合計額から収益分配金の金額を引いたもの)
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金
(配当等相当額)	(配当等に相当する額)
(売買損益相当額)	(売買損益に相当する額)
分配準備積立金	分配金を支払うための準備積立金
繰越損益金	繰越損益の合計金額

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申しあげます。

種類・項目	ＷＢグリーンファンド クラスＡ ケイマン籍円建外国投資信託
運用の基本方針	
基本方針	インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。
主な投資対象	世界銀行が発行する債券を主な投資対象とします。
投資方針	・世界銀行が発行する債券（グリーンボンドなど）を主な投資対象とすることで、安定的な収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざします。 ・各通貨への投資比率は、各国の金利水準、政治・経済状況、市場の流動性などに基づき決定します。
主な投資制限	・原則として純資産総額の50%以上を有価証券に投資します。 ・株式への投資は行ないません。
収益分配	原則として毎月15日（休日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。
ファンドに係る費用	
信託報酬など	純資産総額に対して年率0.31%以内 （国内における消費税等相当額はかかりません。）
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。
その他	
投資顧問会社	日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド
管理会社	日興ＡＭグローバル・ケイマン・リミテッド
信託期間	2109年12月31日まで
決算日	原則として、毎年２月末日

◈投資ポートフォリオ

WBグリーンファンド

2015年２月28日現在

	社債	元本金額	公正価値 JPY	純資産に占める割合 (%)
	国際機関			
BRL	IBRD 5.1% 26-Jan-16	3,020,000	119,498,425	0.58
BRL	IBRD 6% 15-Sep-16	20,500,000	808,368,753	3.92
INR	IBRD 6% 20-Dec-16	670,300,000	1,305,596,754	6.33
AUD	IBRD 6% 15-Feb-17	7,305,000	732,353,492	3.55
TRY	IBRD 10% 02-Mar-17	19,481,000	952,973,744	4.62
BRL	IBRD 9.5% 02-Mar-17	58,005,000	2,392,613,757	11.61
NOK	IBRD 3.75% 19-May-17	142,000,000	2,347,383,516	11.39
USD	IBRD 1.875% 07-Oct-19	2,000,000	242,942,223	1.18
NZD	IBRD 3.75% 10-Feb-20	11,940,000	1,083,865,944	5.26
MXN	IBRD 7.5% 05-Mar-20	381,795,000	3,495,154,729	16.96
TRY	IBRD 8.25% 04-Mar-22	31,455,000	1,448,836,491	7.03
MXN	IBRD 0% 19-Sep-22	50,000,000	279,612,745	1.36
ZAR	IBRD 7% 07-Jun-23	175,000,000	1,673,834,431	8.12
USD	IBRD 2.5% 25-Nov-24	7,500,000	930,520,200	4.52
USD	IBRD 2.125% 03-Mar-25	8,652,000	1,032,886,641	5.01
AUD	IBRD 4.25% 24-Jun-25	10,000,000	1,039,913,280	5.05
			19,886,355,125	96.49
	社債合計		**19,886,355,125**	**96.49**
	金融資産純額合計		**19,886,355,125**	**96.49**
	その他の純資産		**723,927,133**	**3.51**
	純資産合計		**20,610,282,258**	**100.00**

IBRD = 国際復興開発銀行

◈損益計算書

WBグリーンファンド

	2015年２月28日に終了した会計年度
	2015
投資収益：	JPY
利息収入	1,333,902,557
その他収益	2,763,595
投資収益合計	1,336,666,152
費用：	
管理報酬	9,997,988
運用報酬	55,951,169
受託者報酬	14,061
専門家報酬	5,665,292
保管手数料	5,393,243
その他費用	1,097,494
ファンド費用合計	78,119,247
投資純利益	**1,258,546,905**
実現純利益（損失）および未実現利益（損失）の変動額	
実現利益	
投資有価証券	227,392,934
外貨取引および外国為替先渡契約	(18,677,290)
実現純利益	208,715,644
未実現評価損の変動額	
投資有価証券	(537,169,238)
外貨取引および外国為替先渡契約	22,970,140
未実現評価損の純変動額	(514,199,098)
実現純利益（損失）および未実現利益（損失）の変動額	**(305,483,454)**
運用から生じる純資産の純増加額	**953,063,451**

マネー・アカウント・マザーファンド

運 用 報 告 書

第６期（決算日　2015年10月13日）
（2014年10月15日～2015年10月13日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信　託　期　間	2009年10月30日から原則無期限です。
運　用　方　針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組　入　制　限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

フ　ァ　ン　ド　概　要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<636843>

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
２期(2011年10月12日)	10,018	0.1	66.8	598
３期(2012年10月12日)	10,027	0.1	78.6	699
４期(2013年10月15日)	10,035	0.1	88.6	778
５期(2014年10月14日)	10,042	0.1	60.8	707
６期(2015年10月13日)	10,043	0.0	62.9	620

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率
		騰落率	
(期　首)	円	%	%
2014年10月14日	10,042	－	60.8
10月末	10,042	0.0	62.0
11月末	10,042	0.0	63.1
12月末	10,042	0.0	80.5
2015年１月末	10,042	0.0	78.1
２月末	10,042	0.0	80.8
３月末	10,042	0.0	80.3
４月末	10,043	0.0	78.0
５月末	10,043	0.0	81.5
６月末	10,043	0.0	74.5
７月末	10,043	0.0	77.7
８月末	10,043	0.0	83.9
９月末	10,043	0.0	59.8
(期　末) 2015年10月13日	10,043	0.0	62.9

(注) 騰落率は期首比です。

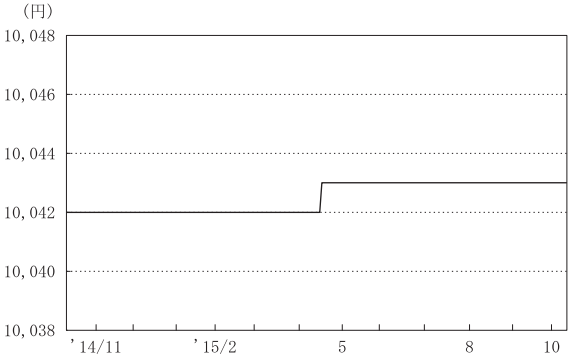
○運用経過

（2014年10月15日～2015年10月13日）

基準価額の推移

期首10,042円の基準価額は、期末に10,043円となり、騰落率は＋0.0％となりました。

基準価額の推移



期　首	期中高値	期中安値	期　末
2014/10/14	2015/04/16	2014/10/15	2015/10/13
10,042円	10,043円	10,042円	10,043円

基準価額の変動要因

期中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

＜値上がり要因＞

・利息収入などを得たこと。

（国内短期金利市況）

期中、無担保コール翌日物金利は、概ね0.05～0.09％の範囲で安定的に推移しました。

国庫短期証券（ＴＢ）３ヵ月物金利は、期首の－0.01％近辺から、2014年11月下旬にかけては、日銀による積極的なＴＢの買入れ姿勢などを背景にマイナス金利幅を拡大し、－0.08％台となりました。12月には、日銀がＴＢの買入れ額を減額したことなどを背景に、0.00％近辺まで上昇しました。その後、2015年８月にかけては、ギリシャの債務問題を背景としたユーロ圏からの資金流入などもあり一時的に－0.07％台まで低下する局面があったものの、概ね0.00％近辺で、もみ合う展開となりました。９月以降は、決算期末を控えた金融機関からのＴＢ需要の増加などを背景に低下基調となり、－0.00％台半ばで期末を迎えました。

ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○１万口当たりの費用明細

(2014年10月15日～2015年10月13日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2014年10月15日～2015年10月13日)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	2,950,136	860,151
			(2,130,000)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)
(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注) 債券現先を含めています。

○利害関係人との取引状況等

(2014年10月15日～2015年10月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年10月13日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債　種類別開示

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	390,000	389,999	62.9	－	－	－	62.9
	(390,000)	(389,999)	(62.9)	(－)	(－)	(－)	(62.9)
合計	390,000	389,999	62.9	－	－	－	62.9
	(390,000)	(389,999)	(62.9)	(－)	(－)	(－)	(62.9)

(注) (　)内は非上場債で内書きです。
(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債　銘柄別開示

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	%	千円	千円	
第487回国庫短期証券	－	10,000	9,999	2015/10/20
第548回国庫短期証券	－	80,000	79,999	2015/11/2
第550回国庫短期証券	－	300,000	299,999	2015/11/9
合計		390,000	389,999	

○投資信託財産の構成

(2015年10月13日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	389,999	62.8
コール・ローン等、その他	231,217	37.2
投資信託財産総額	621,216	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2015年10月13日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	621,216,535
コール・ローン等	231,216,386
公社債(評価額)	389,999,748
未収利息	401
(B) 負債	924,526
未払解約金	924,526
(C) 純資産総額(A－B)	620,292,009
元本	617,609,609
次期繰越損益金	2,682,400
(D) 受益権総口数	617,609,609口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,043円

（注）当ファンドの期首元本額は704,168,192円、期中追加設定元本額は770,941,963円、期中一部解約元本額は857,500,546円です。

（注）2015年10月13日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（マネープールファンド） 95,233,104円
- アジア・ヘルスケア株式ファンド 91,066,091円
- インデックスファンドＭＬＰ（毎月分配型） 61,436,266円
- 世界標準債券ファンド 57,050,631円
- 資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアル・コース>（毎月分配型） 45,960,954円
- エマージング・プラス（マネープールファンド） 42,822,373円
- エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース 36,944,504円
- エマージング・プラス・成長戦略コース 27,913,517円
- アジア社債ファンド Ｂコース（為替ヘッジなし） 26,800,196円
- ピムコＵＳハイインカム・ローン・ファンド（毎月分配型）為替ヘッジなし 16,037,711円
- 中華圏株式ファンド（毎月分配型） 11,824,748円
- グリーン世銀債ファンド 10,609,320円
- 日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型（新興国通貨戦略コース） 8,682,325円
- エマージング・プラス・円戦略コース 6,951,132円
- ＲＳ豪ドル債券ファンド 5,978,333円
- グローバルＣｏＣｏ債ファンド 新興国高金利通貨コース 5,032,492円
- ＳＭＢＣ・日興 世銀債ファンド 4,812,948円
- インデックスファンドＭＬＰ（１年決算型） 3,891,723円
- アジアＲＥＩＴオープン（毎月分配型） 3,807,065円
- 資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>（毎月分配型） 3,755,103円
- 高金利成長通貨ファンド（毎月分配型） 3,722,637円
- グローバルＣｏＣｏ債ファンド 先進国高金利通貨コース 3,322,114円
- 資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>（毎月分配型） 3,099,961円
- 欧州社債ファンド Ｂコース（為替ヘッジなし） 2,880,920円
- グローバルＣｏＣｏ債ファンド 円ヘッジコース 2,880,123円
- アジアインフラ株ファンド（毎月分配型） ブラジルレアル・コース 2,647,116円
- ピムコＵＳハイインカム・ローン・ファンド（毎月分配型）為替ヘッジあり 2,646,769円
- 日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型（円ヘッジコース） 2,629,139円
- アジア社債ファンド Ａコース（為替ヘッジあり） 2,207,568円
- エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース 1,984,200円
- 日興グラビティ・ファンド 1,938,328円
- 日興マネー・アカウント・ファンド 1,864,936円
- グローバルＣｏＣｏ債ファンド ヘッジなしコース 1,701,206円
- アジアリートファンド（毎月分配型） 1,420,675円
- 日興ＧＳグロース・マーケッツ・ファンド 1,345,004円
- 欧州社債ファンド Ａコース（為替ヘッジあり） 1,344,658円
- アジアインフラ株ファンド（毎月分配型） インドルピー・コース 1,293,114円
- 世界標準債券ファンド（１年決算型） 1,218,744円
- ＵＳハイインカム・ストラテジー・ファンド（毎月分配型）為替ヘッジなし 1,177,237円
- エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース 1,169,358円
- アジア・ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジなし） 1,038,295円
- アジア・ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジあり） 1,017,104円
- インデックスファンドＭＬＰ・為替ヘッジあり（適格機関投資家向け） 997,540円
- 日興キャピタル・ストラテジー・ファンド毎月分配型（通貨アルファ戦略コース） 964,921円
- 世界の高配当株式ファンド（通貨選択シリーズ・毎月分配型）ブラジルレアルコース 804,077円
- 世界のサイフ２（毎月分配型） 645,033円
- アジアインフラ株ファンド（毎月分配型） インドネシアルピア・コース 558,564円
- ＵＳハイインカム・ストラテジー・ファンド（毎月分配型）為替ヘッジあり 402,825円
- 資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>（毎月分配型） 300,471円
- インデックスファンドＭＬＰ・為替ヘッジなし（適格機関投資家向け） 208,022円
- オーストラリア・インカム株式ファンド（毎月分配型） 170,873円
- グローバル・ハイブリッド・プレミア（為替ヘッジあり） 152,998円
- ＡＢグローバル・ハイインカム・オープン（1年決算型）為替ヘッジあり 138,436円
- 世界の高配当株式ファンド（通貨選択シリーズ・毎月分配型）資源国通貨コース 132,011円
- 日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型（ヘッジなしコース） 130,355円
- 日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型（通貨プレミアムコース） 110,872円
- 上場インデックスファンド海外新興国株式（MSCI エマージング） 99,902円
- 世界の高配当株式ファンド（通貨選択シリーズ・毎月分配型）オーストラリアドルコース 89,495円
- グローバル・ハイブリッド・プレミア（為替ヘッジなし） 78,627円
- 世界の高配当株式ファンド（通貨選択シリーズ・毎月分配型）ヘッジなしコース 76,608円
- 日興キャピタル・ストラテジー・ファンド毎月分配型（円ヘッジコース） 72,395円
- インド株式ファンド（毎月分配型） 69,792円
- アジア債券ファンド（毎月分配型） 50,519円
- ＡＢグローバル・ハイインカム・オープン（毎月分配型）為替ヘッジなし 48,171円
- 上場インデックスファンド海外先進国株式（MSCI-KOKUSAI） 19,997円
- 上場インデックスファンド中国Ｈ株（ハンセン中国企業株） 19,983円
- 上場インデックスファンド米国株式（S&P500） 19,983円
- 上場インデックスファンドCNX Nifty 先物（インド株式） 19,983円
- 上場インデックスファンド豪州リート（S&P/ASX200 A-REIT） 19,977円
- ＡＢグローバル・ハイインカム・オープン（1年決算型）為替ヘッジなし 18,156円
- シンガポール高配当株式ファンド（毎月分配型） 10,645円
- 上場インデックスファンド新興国債券（バークレイズLocal EM国債） 9,981円
- ＡＢグローバル・ハイインカム・オープン（毎月分配型）為替ヘッジあり 8,655円

（注）１口当たり純資産額は1.0043円です。

○損益の状況

(2014年10月15日～2015年10月13日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	117,450
受取利息	117,450
(B) 有価証券売買損益	454
売買益	454
(C) 当期損益金(A＋B)	117,904
(D) 前期繰越損益金	2,933,341
(E) 追加信託差損益金	3,269,014
(F) 解約差損益金	△3,637,859
(G) 計(C＋D＋E＋F)	2,682,400
次期繰越損益金(G)	2,682,400

(注) 損益の状況の中で(B)**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(E)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 損益の状況の中で(F)**解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2014年10月15日から2015年10月13日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2013年６月に改正された金融商品取引法および投資信託及び投資法人に関する法律ならびにこれに関連する政令・内閣府令が2014年12月１日に施行されたため、改正後の法令に対応させるべく、2014年12月１日付にて信託約款に所要の変更を行ないました。(第21条の２、第38条、第43条、第44条)

- 当ファンドについて、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第１項第８号の２に定める信用リスクを適正に管理する方法として、一般社団法人投資信託協会規則に従って委託会社が合理的な方法を定めるべく、2015年１月16日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(付表)